

溶出部にのみ認められた。生物活性は何れの場合も0.1M NaCl 溶出部に認められた。また低単位奇胎においては0.2~0.3M NaCl 溶出部に免疫活性を認めないが、強い生物活性を示す分画が存在した。さらに、アフィニティクロマトではhCGは殆んど吸着部に存在した。純化hCGのアミノ酸組成、糖組成は何れも近似した値を示した。

以上より低単位奇胎では高単位奇胎に比べ分子サイズ並びに電気的に均質性の高いhCGが分泌されていることが推測された。

質問 (大阪市大) 友田 昭二

① 低hCG 胞状奇胎例の予後について御教示下さい。

② hCGの糖成分の検索により胞状奇胎の予後判定は可能でしょうか。

回答 (長崎大) 出口 晴彦

一般に予後良好といわれておりますが、私どもが経験しました4例のうち2例はhCGの再上昇を示しており、必ずしも予後良好とはいえない印象をもっております。

回答 (長崎大) 今村 定臣

絨毛性疾患の予後をhCGの糖含量により推測することは困難と思う。

質問 (旭川医大) 清水 哲也

低単位奇胎のhCGの「物性」は、正常絨毛のhCGとどのような差異を示しているか、ご教示下さい。

回答 (長崎大) 今村 定臣

正常絨毛組織より精製したhCGとの比較では、アミノ酸組成は近似するが、糖組成、とくにヘキサミンとシアル酸含量が低いという成績を得ている。

質問 (名古屋第1赤十字病院) 浅井 保正

胞状奇胎の初期観察をすると尿中hCG値は100IU/l位より急速に1000IU/lと上昇してゆく場合が時にみられる。今回の例に於ける低値、高値群は、どの位の期間をみたものか。

回答 (長崎大) 出口 晴彦

低単位奇胎では長いもので1週間ほど観察し、急速な上昇はみておりません。

78. 培養絨毛癌細胞におけるMTXの細胞増殖、HCGならびにSP₁の産生に及ぼす影響

(旭川医大)

林 博章, 牟礼 一秀, 佐川 正

山下 幸紀, 清水 哲也

目的: 絨毛癌に対するMTXの感受性は認められ

ているが、MTXに抵抗性を示すものもあり、その本態はまだ不明の部分が多い。またMTX投与によりHCGの合成が促進されるらしいことも最近明らかにされつつある。そこでこれらの点を基礎的に検討するため3種類の絨毛癌細胞を用いて実験を行った。

方法: 用いた絨毛癌はBeWo, GCH-2, SCHである。1×10⁶/mlにて培養を開始し、4日目に濃度(1×10⁻⁸, 1×10⁻⁷, 1×10⁻⁵M)のMTXを1日投与、3日間投与、7日間投与群として実験を行なった。ホルモンは培養液、細胞内をRIA法により、HCG, β-HCG, SP-1を測定した。

結果: MTXの細胞増殖抑制は、10⁻⁸, 10⁻⁷, 10⁻⁶M濃度とDose dependentな結果が得られましたが、3群の投与期間内に差は認められず、24時間投与群とほぼ同様のパターンを示した。培養液中、細胞内のHCG, β-HCG, SP-1の分泌動態と細胞増殖との比較により、臨床上一過性のHCG値上昇は、3種類の絨毛癌細胞株で、それぞれ観察されましたが、しかしMTXに対するHCG, β-HCGの変動は妊娠性絨毛癌細胞株BeWo, GCH-2の2者と胃原発(男子)の非妊娠性絨毛癌細胞株SCHとの間に若干の差が認められました。SP-1に関して、MTXにより分泌動態に明らかな変化はなく、HCG, β-HCGに認められたMTXによる一過性の上昇はSP-1において、本実験系では観察されませんでした。

独創点: MTXを用いて絨毛癌細胞における細胞増殖、HCG, β-HCG, SP-1の分泌動態の変動を基礎的に検討した。

質問 (千葉大) 関谷 宗英

使用されたヒト絨毛癌細胞株はMTX感受性ありとお考えですか。

回答 (旭川医大) 林 博章

連日(7日間)投与期間内で各種MTX濃度においてBeWo, GCH-2, SCH, 再回復して増殖を開始する。このcellsがMTXに対して抵抗性を有すると考える。

質問 (千葉大) 稲葉 憲之

① BeWo cell 細胞抽出液、培養液中におけるSP₁/β-hCGの値?

② MTX処理後この数値はどう変わるか。

回答 (旭川医大) 林 博章

① 約1/4と記憶します。

② SP-1は変動を示さなかつたので比としては低下したと記憶します。